



一年の飛躍を誓い「初射会」

市弓道協会(藤兼晃会長、38人)の新春行事「初射会」が1月17日、市営弓道場で開かれ、会員一同、今年もなお一層修練に励むことを誓いました。

「弓道を通して自己の心と技を磨くとともに、老若男女の交流の場としてほしい」との藤会長のあいさつの後、錬士6段の宮本芳雄副会長による「矢渡し」が行われ、放たれた矢は28^{センチ}先の的を見事射止めました。引き続き、女性3人を含む19人が次々と射位に立ち、的場に置かれた直径10^{センチ}の金の的や扇の的に矢を放って、弓の引き初めの感觸を心ゆくまで味わっていました。



ははだけ青春



「成人の日」の1月15日、市の成人式が開かれました。今年、大人の仲間入りしたのは、男女合わせて496人。式典では、彼らを代表して「二十歳の声、論

文」に入選した3人の青年が「今の思い」を発表しました。その内容をご紹介します（掲載に当たっては、文意を損なわない範囲で要約させて頂きました）。

二十歳を迎えて

木下亜由美(学生・春日3)

二十歳、この響きにあこがれ始めたのは、小学校5年の時、ガールスカウトに入ってからです。

初めての集会の日に、私たちスカウトのおねえさん役、リーダーという存在を知りました。私には親戚や近所にそんなおねえさんがいなかったの、その一人に思い切って聞いてみました。「リーダーっていつ」「はたちよ」。その時私は、かっこいいなあ、私も早くリーダーになりたいなあと思ったのです。これが私の二十歳へのあこがれ、そしてスカウト活動の始まりでした。

それから10年たち、今、私は二十歳のおねえさんリーダーです。約40人のスカウトたちと月1回の集会をはじめ、キャンプやハイキング、老人ホーム慰問など、いろいろな活動をしています。

ガールスカウトの最終目標は、すばらしい女性になるということです。すばらしい女性、って何だろう、そんな疑問を長い間持ったまま、昨年7月、国際青年の船に参加しました。

私はソ連と西ドイツのコースでしたが、印象的だったのは子供たちの姿です。西ドイツではホーム



ステイをしましたが、その家庭の子供たちは、テレビはまず見ません。その代わり、外が暗くなるまで馬を追いかけたり、サイクリングに行ったりしていました。私にも、日本の遊びを教えろと引っぱりに来たり、近所の子供たちが、ドッジボールをしようと毎日呼びに来たりしました。

子供たちはみんなで相談したりけんかをしたりしながら遊びを發展させていました。「いつ勉強するの」と聞くと、「勉強？ しないよ」と笑い飛ばされてしまいました。この時、ふと日本の子供たちを思

い浮かべました。子供の多くは、学校から帰ると塾へ行くか、家でテレビを見たりファミコンで遊んでいます。いずれにしても、ほとんど自分が話したり考えたりすることはありません。これでは子供の持つ大きな可能性が埋もれてしまうのではないか、と思いました。

旅行から帰って集会に行くと、スカウトたちが迎えてくれました。生き生きとした子供たちの顔を見ているうち、自分が子供を見守る側になっていることにふと気付きました。ずっと子供だと思っていた私が、いつの間にか、ほほ笑んで子供たちを見ているのです。

今、何となくですが、ずっと疑問に思っていたすばらしい女性、の姿が見えてきたように思います。それは、生きて行く中で、昨日よ



りも今日、今日よりも明日と、一日一日少しずつでも自分を成長させようと努力する女性ではないでしょうか。

私は今、二十歳を迎え、リーダーになり、そして保母になります。すばらしい女性、となるために子供たちからは、子供しか持っていないパワーや純粹さを学び、子供を愛する大人の人や、家族をはじめ、私を支えてくれる人たちからは、自分にないものをどんどん吸収して、これからの人生を一步一步、あゆみたいと思います。

二十歳の抱負

中森雅巳(学生・中挟3)

「他山の石、とか人の振り見て我が振り直せ」とかいうことわざがあります。福井駅周辺を歩いていた時に出会った3人の若者たちの行動は、そうした意味で、私の心に訴えるものがありました。

激しい雨の降る日でした。レインコート姿の盲目の青年が、駅から市街に向かう歩道を白い杖で探るように歩いて来るのに出会いました。その足取りは痛ましいほど危なっかしく、「手を取ってあげようか。そんなことは失礼だろうか」と迷っていると、さっと横から彼



に近づいたおばさんがいました。

「危ないですよ。一緒に行きましょう」とその人は声を掛けたのです。「先を越されたな」と思う心と「よかった」と思う心を交錯させながらその場を足早に通り過ぎようとした時、「いいです。ぼく一人で歩けますから」という青年の声が聞こえました。

私は思いがけない事の成り行きにあぜんとなりました。けれど、人の親切を拒んだ彼は、きっと心の底では感謝をしながらも、「自分の道は自分で切り開いていかなければならない。親切に甘えていたら一人で歩けなくなる」と考えたに違いありません。

次に、地下道を通り抜けようとした時です。そこには私と同世代の若者が、「恵まれない子に愛の手を」と書かれた箱を両手に「お願いします」と頭を下げていました。私はポケットに手をつっ込み、持ち合わせの100円玉を取り出して無造作に入れました。

「ありがとうございました」と、

深々と頭を下げる青年の前を通り過ぎて地下道を出た時「ちょっぴりいい事をしたな」と思い、胸を張って外気をいっぱい吸い込んだものの、ふと、「募金にしてはちょっとおかしな感じだったな。ひょっとするとだまされたかな…」と思うと、心の中まで寒くなってしまいました。

最後に、映画館の前にたむろしている若者たちの横を通り抜けようとした時のことです。

ドンと集団が私に突き当たったかと思うと「やい。文句あるんか。因縁付ける気か」と、怒声が飛んできたのです。私は「ごめん、ごめん」と言うが早いか、一目散に駆け出し、どうにか逃げ切ることができました。

さて、私が路上で体験した以上3つの出来事は、私にいろいろなことを考えさせてくれました。

一つは、苦しいことに耐え抜いてこそ道が開けるということ。成人式を迎えたものの、まだまだ未熟で心の弱い私です。あの盲目の青年のたくましい生き方を見習いたいと思います。

地下道で募金をしていた青年は誠実な募金活動をしていたのか、あるいはそうでなかったのか、私には分かりません。ただ、同世代



の自分としては、善意の行動であってほしいと思うばかりです。

意図的に私に突き当たって因縁を付けた青年は、人生に思わぬ落とし穴があることを教えてくれたのかもしれない。

大人の仲間入りをする今、もう一度自分を見詰め直し、生き方を

しっかりつかめる人間になりたいと思います。そのためにも、多くの人たちに接し、その生き方を学びたい。また、機会ある限り、多くの土地・世界へ出掛けて視野を広めたいと思っています。そして将来は郷土・大野に住み着いて、仕事をしたいと希望しています。

ふるさと大野の魅力と課題

永森和子(学生・新庄)



私が生まれ育った町「大野」は、道が碁盤の目のように縦横に交わり、町の一角には寺が立ち並ぶなど大変情緒があり、いかにも北陸の「小京都」の風情が感じられます。

また、自然は四季折々の変化に富み、そこでは人情味豊かな人々が生活しています。私はそんな中で生まれ育ち、はや20年がたとうとしています。

進学の際には都会の華やかさにあこがれ、大野を離れはしましたが、休日などに帰って来ると感じる何か「ほっ」とした気持ちは、「親元」だからというだけではなく、大野の恵まれた自然と人柄からもくるものではないでしょうか。

しかし、自然と人柄だけでは魅力的な大野とはいえません。今、私たち若者が大野にとどまりたくてもそれがかなえられない理由の一つに、適当な職場がないということがあります。

毎年多くの若者が学校を終え、希望に胸を膨らませ社会へ踏み出そうとするとき、大野の現状に落胆してしまいます。自分の個性にあった仕事を、自由に選択できるような職場が確保できてこそ、魅力あるわが町といえるのではないのでしょうか。

私は昨年、7月の末から8月の初めにかけて2週間、国際青年の船

に参加しました。最初は、自由主義国・日本で育った私たちにとって、世界の大国・ソ連という共産主義社会を訪問することは言葉が分からないせいもあって、とても不安でした。

ソ連でまず目に付いたことは、ロシア人独特の太った体を動かしくよく働く女性労働者の姿でした。また、どこを訪問しても、日本人である私たちを温かく歓迎してくれました。握手を交わす手と手に力が入り、胸が熱くなりました。「主義」「思想」や言葉の違いはあっても、人の心はどこへ行っても変わらないという思いがしました。

ソ連では「男女雇用均等法」が以前から用いられ、教育面でも男女の区別なく、小さいころから自分の進みたい専門分野に分かれて



学ぶシステムになっていて、卒業後もすぐに役立つような内容になっています。その他、私はあらゆる面で、改めてソ連という共産主義社会の偉大さを知らされました。

さて、元に戻って、大野に若者が魅力を感じないもう一つの理由として、だれもが気軽に集まって遊べる「憩いの場」が欠けていることがあげられないでしょうか。

何年か後に、総合体育館や広大な公園が計画されているそうですが、仕事が終わってからでも年中気軽に立ち寄れるリゾート施設が必要になってきます。若者が気楽に集えるにぎやかな町にすることで市の活性化・活気ある町づくりが図られるのではないのでしょうか。

私も今後、社会の一員としてすべてのことに責任を持ち、青年活動や地域社会の活動に進んで参加したいと思います。そして、明るく住みよい郷土になるようみんなで努力し、協力し合って行かなければと、心新たにしています。



市・県民税の申告

期限は3月15日です

今年も市・県民税の申告時期になりました。申告期間は2月24日(水)～3月15日(火)です。

混雑を避けるため、できるだけ指定された日に申告されるようお願いいたします。

申告用紙は、今月20日ごろに区長さんを通じてお届けします。

申告が必要な人は

申告が必要な人は、63年1月1日現在で市内に住んでおり、62年中に所得があった人です。

ただし、①所得税の確定申告をされる人②63年1月1日現在で給与の支払いを受けており、給与以外の所得がない人——は、申告する必要はありません。

申告に必要なもの

申告の際に必要なものは①申告用紙②印鑑③家族の生年月日の分かるもの(保険証など)④62年中に支払った生命保険料や、医療費などの領収書または証明書⑤源泉徴収票や給与支払い報告書——などです。

申告用紙が届かなかったり、書

き方などで分からない点がある場合は、市税務課市民税係(☎66-1111内線423)へお尋ねください。

所得税の申告もお早めどうぞ

昭和62年分の所得税の確定申告は、2月16日から3月15日までです。期限間近になりますと、税務

署は大変混雑します。できるだけ早い時期に済ませてください。

なお、農業所得と営業所得についての納税相談が、次の日程で開かれます。平日が午前9時～午後4時、土曜日は正午までです。

農業所得▷2月16日～18日 市農協下庄・富田・阪谷の各支所▷2月18・19日 市農協小山・乾側支所▷2月19・22日 市農協大野支所▷2月19・22日 上庄農協

営業所得▷2月16日～3月15日 大野税務署▷2月23日市役所

市・県民税申告の日程表

月日	曜日	場 所	月日	曜日	場 所
2.24	水	市 役 所	3. 5	土	木本集落センター
25	木		7 月	乾 側 公 民 館	
26	金		8 火	小 山 公 民 館	
27	土		9 水	蕨生集落センター	
29	月		10 木	富 田 公 民 館	
3. 1	火	下 庄 公 民 館	11 金	市農協富田支所	
		庄林生活改善センター		阪 谷 公 民 館	
2	水	下 庄 公 民 館	12 土	市農協阪谷支所	
3	木	南六呂師・雲乗寺		14 月	市 役 所
4	金	上 庄 公 民 館			
5	土	五 箇 公 民 館	15 火		

●時間はいずれも午前9時～午後4時。ただし、土曜日は午前11時30分までです。

●町内ごとの日程詳細は、後日、申告書配布の際にお知らせします。

南部第二地区の保留地を処分 入札参加者を募集します

市では、現在施行している南部第二土地区画整理事業地区内の保留地を競争入札により処分しますが、これに先立ち、入札の申し込みを受け付けます。

今回処分する保留地は4筆で、参加申込方法・入札日時などは次のとおりです。

市では、昭和63年度以降も計画的に処分して、宅地の供給を

図っていく予定です。詳しくは市役所都市計画課(☎66-1111

内線351)へお問い合わせください。

受付期間 2月9日(火)～23日(火)

午後4時まで

申込方法 市役所都市計画課にある申込書に、入札保証金を添えて同課へ提出してください。

入札日時 2月24日(水)午前9時から

入札場所 市役所3階大会議室

処 分 対 象 保 留 地

町名	街区	仮地番	面積(㎡)	入札保証金(円)	用途地域
春日	16	8	334.84	400,000	第2種住専
春日	18	13	636.87	700,000	準工業
春日	28	1	393.40	400,000	第1種住専
春日	28	17	297.00	300,000	第1種住専

市の家計簿を公表

62年12月末現在の財政状況です

市の家計簿がどのようになっているか、皆さんが納められた税金などがどのように使われているかを、知って頂

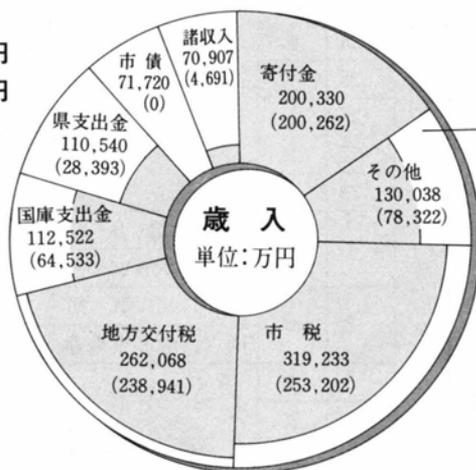
くため、62年12月末現在の財政状況をお知らせします。ご家庭の家計簿と同様に、市の台所事情もご覧ください。

一般会計の執行状況

一般会計とは、市の普通一般の歳入・歳出を経理する会計です。つまり、土木費・教育費・民生費など、市の基本的な経費を中心に計上してあります。

【歳入】

予算額 127億7,358万円
 収入済額 86億8,344万円
 収入率 68.0%

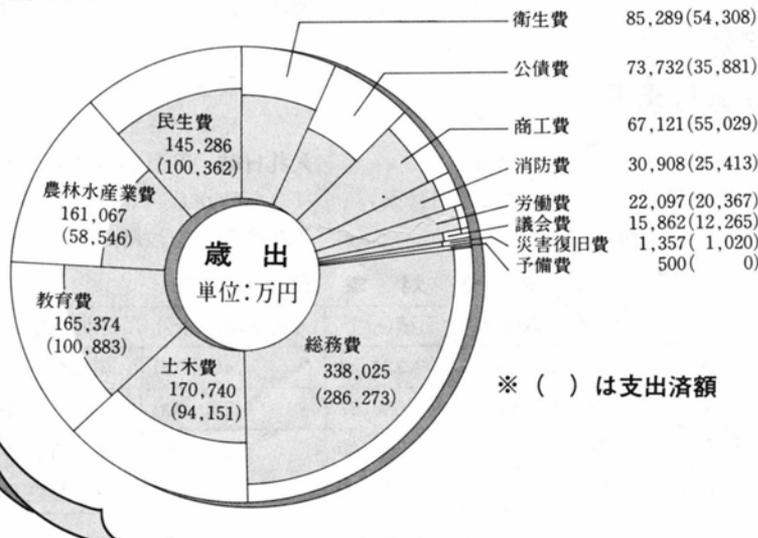


繰入金	30,620 (0)
分担金及び負担金	23,783 (16,701)
繰越金	24,893 (24,893)
使用料及び手数料	15,262 (11,323)
自動車取得税交付金	12,000 (7,784)
地方譲与税	12,300 (8,705)
財産収入	10,480 (8,260)
交通安全対策特別交付金	700 (656)

※ () は収入済額

【歳出】

予算額 127億7,358万円
 支出済額 84億4,498万円
 支出率 66.1%



※ () は支出済額

市債の借入状況

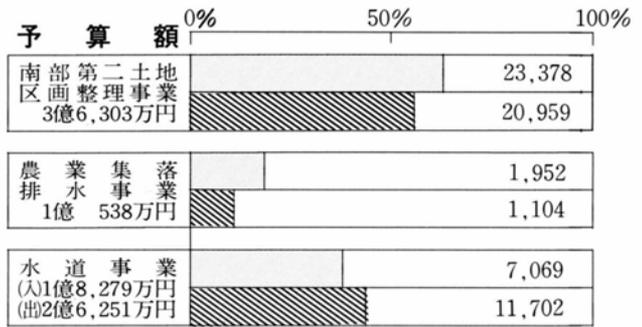
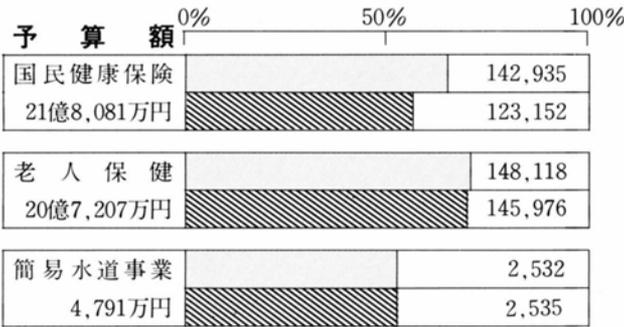
市債の借入先別の状況は次のとおりです。市債とは、大きな建設事業などの財源を調達するために借り入れた資金です。

数字は、過去に借り入れたものの残金で、()は構成比です。

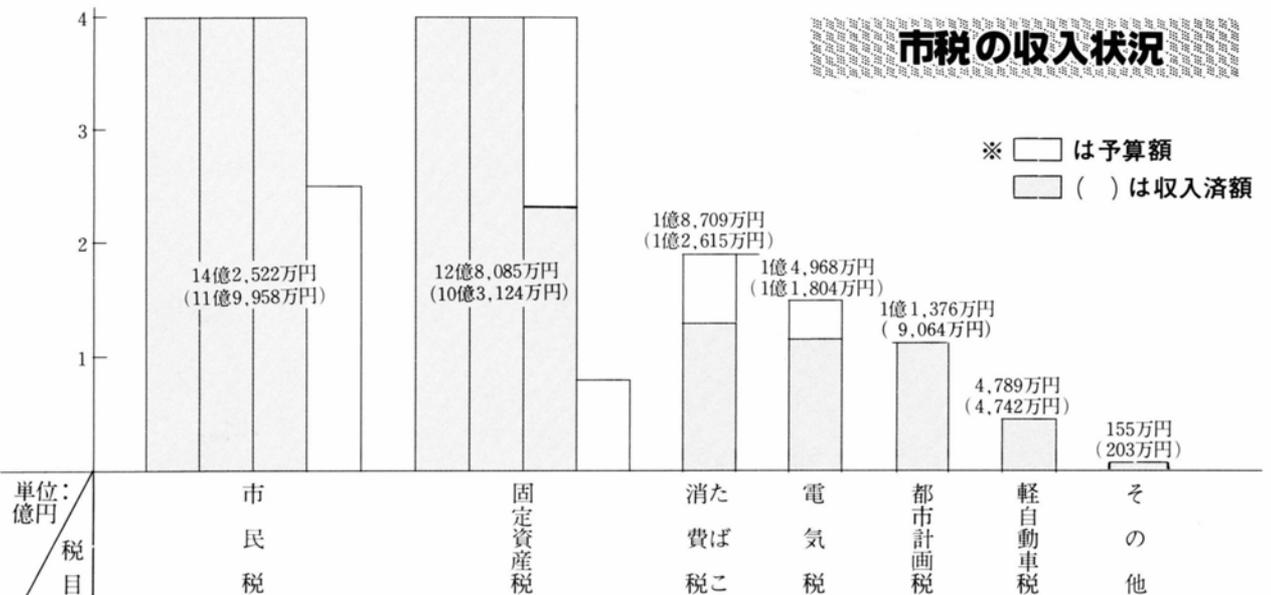
- 大蔵省資金運用部
28億3,663万円 (51.9%)
 - 郵政省簡易保険局
17億4,109万円 (31.8%)
 - 公営企業金融公庫
2億6,509万円 (4.8%)
 - その他
6億2,787万円 (11.5%)
- 合計54億7,068万円 (100.0%)

特別会計の執行状況

特別会計とは、市が特定の事業を行うときに、一般会計と区別して経理し、その特殊性を明らかにするため設けられたものです。水道事業は、企業会計です。



※ □ は収入済額、▨ は支出済額。単位：万円



主な建設事業

事業名	金額	事業名	金額
大野有終会館建設事業	10億9,996万円	林道整備事業	7,341万円
市民会館改修事業	4億8,861万円	団体営農道整備事業	6,966万円
道路改良・舗装事業	3億1,107万円	下庄小・富田小大規模改修事業	6,039万円
六呂師小校舎・体育館改築事業	2億9,211万円	橋りょう改良事業	5,900万円
河川改良事業	2億3,225万円	補足農業構造改善事業補助	4,981万円
農村基盤総合整備事業	2億192万円	基幹作業道整備事業	4,697万円
都市計画街路整備事業	1億4,975万円	都市下水路整備事業	4,310万円
小山小体育館改築事業	1億4,223万円	災害復旧事業	3,838万円
都市公園整備事業	1億1,587万円	素材供給基地整備パイロット事業	3,816万円
民有林林道開設事業	1億1,024万円	上庄小水泳プール建設事業	3,763万円
土地改良事業補助	1億222万円	六呂師保育所改築事業	3,000万円
亀山公園整備事業	8,584万円	六呂師小改築付帯整備事業	2,900万円

乳幼児期からの性教育

保健センターだより

子と共に考える姿勢を

幼児期の性教育では、まず男女の基本的な差異を教え、清潔で規則正しい生活習慣をしつけることが大切です。また、自分の両親をはじめ、家族は助け合って生活していることを理解させ、わがままな行動を慎む心情を育てましょう。

さて、幼児の性の質問は、性的欲求に基づくものではなく、知的探求心の表われです。質問されたら、いいチャンスですからさり気なく受け止め、子供が知りたい事の確認として「どう思うの?」「誰がそう言ったの?」などと聞き返してみます。理解度に合わせて説明し、分かりにくいことには「分からないから勉強してから教えてあげるね」と答え、親自身が勉強する態度を示すことも大切です。

相談は保健センターへ

幼児を取り巻く環境は必ずしも好ましいとはいえません。自分の性を知り、異性との交流の中で互いの体と心を理解する心情を養いながら、はつらつとした思春期を迎えさせるためにも、早くからの性教育が必要です。

保健センターでは、各地区愛育会を中心に愛育学級を運営し、性教育に取り組んでいますので、悩みごとは気軽に保健センター(☎65-7333)へご相談ください。



「乳幼児期からの性教育」と読んで、「え、そんなに早くから必要なの」と驚く方も多いと思います。事実、保健センターが昭和61年5月に実施した地区愛育会会員対象のアンケートでも、55.4%の人が不必要と答えています。けれど、本来の性教育は、ただ単に生殖に関する知識を教えるものではなく、精神的にも健康な人格形成を目的とするものです。

では、どの時期に、どのようなことを、親として心掛けなければならないかを見ていきましょう。

妊娠4ヵ月からの胎教

胎児は、10ヵ月の妊娠期間中に、人類がたどった進化の姿を一通り発現させるといわれています。

ところで、妊娠4ヵ月ごろから胎児の耳は働き始め、しかもかなりよく聞こえることが実証されています。この時期以降は音楽などを聞いたりして、母子ともに心の栄養と休息を十分に取らしましょう。

スキンシップを大切に

そして、出産。授乳では赤ちゃんをしっかり抱いて、満足するまでじっくりお乳を飲ませましょう。

また、「この子は泣かないし、手のかからない子だから……」といて寝かせてばかりいると、外部からの刺激が少ないために良い発達は望めません。ことばの始まりともいえる「アー」とか「ウー」などの声に相づちを打つことで、ことばの基礎づくりになります。



119 横町通り



明倫町と日吉町にまたがる横町通りは、昔は美濃街道として往来は最もはげしく、戦後も定期バスが通っていました。昔は七間通りとともに、巨那通りとも呼ばれました。明治39年度の大野町長者番付を見ると、20位までに横町から6人が入っていました。

通りを歩くと、中島屋、わかごや、打波屋、御給屋と集落の名のついた店が目につきます。五番通りを左折して、福井銀行横町支店までそんなに長くはありませんが、店の種類の多いのに驚かされます。

38豪雪のときには、道幅が狭いため町の中でも一番困りました。道は屋根よりも高く、電線をまたいで歩きました。市議会議員選挙の候補者のポスターが、電柱のて

っぺんに張られ、春になってものまなになっていました。

横町から寺町に入る角に、昔造り酒屋だった正津屋があります。明治21年と同32年の大火では、この周辺は難を免れましたが、江戸時代から続いている店もいくつかあります。詩人として活躍している正津勉氏(東京在往)は、この出身です。谷川俊太郎氏との詩の往復書簡「対詩」「惨事」「エヴァ」などがあります。

日曜日の朝、久しぶりの積雪で流雪溝へ雪をせっせと運ぶ人の姿がありました。脇本呉服店では、町法事が行われていました。(T)

話題の 交差点

百人一首とにらめっこ 新春母子かるた大会

市母子寡婦福祉連合会主催「新春かるた大会」が1月10日、市職業訓練センターで開かれました。この日は子供たち32人がお母さんやおばあちゃんと一緒に参加。百人一首の札とにらめっこするわが子の姿に、思わずお母さんらも身を乗り出して応援していました。



年賀はがきコンクール 応募作品186点を審査

大野公民館主催・年賀はがきデザインコンクールの審査会が1月19日、同公民館で開かれました。応募作品186点を審査した結果、次の方々が最優秀賞に選ばれました。▷一般の部…高柳和夫さん(清和町)▷小学生の部…松田崇くん(有東小5年)▷中学生の部…矢田綾子さん(陽明中3年)



七間「かまくら朝市」

日時 ▷2月6日(土)午後1時～午後8時▷7日(日)午前8時～正午
場所 七間通り
内容 ○朝市(かまくら20軒で越冬野菜や民芸品を即売)○雪像作品の展示○その他、抽せん会やもちつき、ぜんざいサービスなど盛りだくさん

くじ引きで代参人選び 鍛掛の「伊勢講」

鍛掛集会所で1月10日、伊勢神宮への今年の代参人を選ぶ「伊勢講」が行われました。

見事「代参」のくじを引き当てたのは、清水清一郎さん(48歳)と北野裕二さん(28歳)で、二人は今月初旬に、鍛掛集落の代表としてお伊勢参りをします。



孫たちと「成り木責め」

榎の安川四之作さん

先月15日は小正月。榎の安川四之作さん(69歳)宅では「成り木責め」の行事が行われました。

この日、家族全員で朝食にあずきがゆを食べた後、孫の和宏君(8歳)と知孝君(6歳)、夕子ちゃん(5歳)の3人が、おわんにあずきがゆを入れてもらうと早速、裏庭の柿の木目掛けて飛び出して行きます。

四之作さんが柿の木になた目を入れ、「柿さん、柿さん、今年はなるかならぬかどうかどうじゃ。ならんとぶち切るぞ」と問かけると、柿の木に成り済ました和宏君が「なります、なります。たくさんなります」と答えます。その後、四之作さんの

指図で、3人がなた目におかゆを食べさせ、豊作を約束させました。

「成り木責め」は、柿の豊作を願うおまじないとして、昔はどこの農家でも行われていましたが、今ではほとんど見られなくなりました。安川さんは、昨年、孫の和宏君が小学校へ入学したのを機に、約30年ぶりに始めたのだそうです。





公立幼稚園 63年度入園児を募集

市教育委員会では、昭和63年度の公立幼稚園入園児を募集します。

各園定員 小山幼60人・乾側幼50人・上庄幼80人・阪谷幼60人・富田幼80人

入園資格 ①市内に住居があり、住民票に登録されていること②原則として小学校入学前1年間の幼児であること

募集期間 2月12日(金)～27日(土)

手続き 各幼稚園または市教委学校教育課(天神町6-34 ☎66-1111内線182)にある入園願書2部に、必要事項を記入の上、入園希望の幼稚園へ直接提出

入園決定 3月上旬に入園許可書

をお届けします。ただし、受け付け順で定員に達した場合、入園をお断りすることがあります。

詳しくは上記学校教育課へ。

児童手当の対象が 4月から変わります

昭和61年6月の児童手当法改正に伴い、18歳未満のお子さんを2人以上養育している保護者の人には、2人目から児童手当が支給されるようになりましたが、今年の4月1日からは小学校入学前の2人目以降のお子さん(昭和57年4月2日以降に生まれた子)に支給されるようになります。

該当する保護者の方は、3月31日までに市福祉事務所児童係(市役所内)で手続きをしてください。申請書類は児童係にありますので、手続きの際は①印鑑②保護者が加入している年金証書③保護者名義の預金通帳をご持参ください。

支給額は、2人目が月額2,500円、3人目以降は同5,000円です。

この手当は、所得が一定額以上

の場合は支給されません。詳しくは上記児童係(☎66-1111 内線475)へお尋ねください。

「進学ローン」の申し込み

国民金融公庫では、「国の進学ローン」として、入学金など進学に必要な資金を融資します。

融資額 進学者1人当たり50万円以内

融資期間 原則として、進学する学校の修業年限以内

利率 年5.5%以内

保証 進学資金融資保証基金へ加入または保証人1人以上

返済方法 割賦(毎月)払い(ボーナス時に増額返済も可能)

取扱期間 4月30日(土)まで

取扱窓口 国民金融公庫福井支店(☎0776-25-0321)および最寄りの金融機関

公正取引委員会 消費者モニター募集

公正取引委員会では、63年度消費者モニターを募集しています。

奥越で初めての タウン誌を発行

ザ・おくえつ編集室

昨年暮れ、奥越地方で初めてのタウン誌「越前ザ・おくえつ」が発行されました。編集スタッフは、大野電報電話局の多田修次さん(39歳)や大野商工会議所



の中村稔さん(40歳)、ケイター情報システム(勝山市)の新町峰雄さん(30歳)らを中心に集まった男女10人です。

創刊号は、B5版56頁。巻頭の「個性キラリ!職場のみなみちゃん」には地元の若い女性6人が登場。勤め先や趣味、理想の男性像まで紹介。地元の「食」では和菓子、「飲」では地酒を、そして「人」では、少し堅く「人間貧乏がよい!」とする宝慶寺住職北野良道師へのインタビュー。そのほか、スキー場ガイド、求人・求職情報など、身近な情報がいっぱい。変わり種では、落と

グループ登場

し物情報もあります。1冊250円で、市内の書店で販売中です。

ザ・おくえつ編集室では、このタウン誌が少しでも地域の活性化や都会と地元との交流に役立てばと願っています。今後季刊として年4回の発行を計画しており、目下第2号を4月に発行する計画で、企画立案中です。また、編集室では新しいメンバーを募っており、興味があって、気が若い人ならどなたでも結構とのこと。問い合わせは、NTT大野(☎66-4934)へどうぞ。

消費者モニターは、商品の不当表示や過大な景品付き販売、不正な取引などの問題について、公正取引委員会へ意見や要望、情報の提供を行います。

申し込み用紙は市役所生活環境課(☎66-1111 内線461)にあります。締め切りは2月29日(月)です。詳しくは上記生活環境課へどうぞ。

六呂師スキー場で 国民年金ふれあい広場

六呂師高原雪まつりに合わせて、次のとおり「国民年金・ふれあい広場」が開かれます。気軽にお立ち寄りください。

日時 2月14日(日)午前10時～
場所 六呂師高原スキー場・妻平ヒュッテ前
内容 ○もちつき大会○年金クイズ(正解者には景品進呈)
○年金相談所開設——など

早めに贈与税の申告を

昭和62年分の贈与税の申告は、2月1日から始まります。申告期



昨年1年間に市消費者相談センターが受け付けた消費生活相談件数は51件です。その内、訪問・特殊販売についての相談は44件(前年比3件の増)で、全体の86.3%を占めています。そこで今回は、相談件数が多かった順にその内容をご紹介します。

事例1 S・F(催眠)商法……11件

これは、集会場などで無料の品物もらった後、強引に羽毛や羊毛ぶとん、磁気敷布を買わされたというものです。このほか、古いふとんの下取りをする

2月11・13・14日は

六呂師高原雪まつりへ

六呂師高原雪まつりが2月11・13・14日の3日間、開かれます。今回も楽しい催しがたくさん予定されています。ご家族やグループでぜひお出掛けください。
11日(祝)▷ジャイアントスラローム大会(9.00～14.00)
13日(土)▷雪まつりセレモニー(16.00～16.30)▷模範滑降(16.30～17.30)▷たいまつ滑降・営火祭・水着&レーザーショーなど(18.00～19.30)▷

ナイタースキー(19.30～21.00)
：リフト無料開放)

14日(日)▷チビっ子スラローム大会(9.00～正午)▷手作りソリ大会(9.00～正午)▷雪の広場・巨大迷路開設(10.00～13.00)▷もちつき大会・リフト券抽せん会・バレンタインチョコプレゼントなど(正午～13.00)

詳しくは、六呂師高原振興会(☎67-1301)へ。

限は3月15日です。

贈与税が掛かる財産の範囲、税の控除・軽減措置など詳しいことは、大野税務署(☎66-2180)へお問い合わせください。

住宅金融公庫の融資

住宅金融公庫では、個人住宅建設資金および建売住宅購入資金の融資を受け付けています。

募集期限 3月4日(金)まで

限度額 木造で最高1,290万円
金利 年4.6%～5.3%

返済期間 木造25年以内、耐火35年以内

返済方法 元利均等返済または元金均等返済

なお、リフォームローン(住宅改良)、中古住宅購入資金は、3月25日(金)まで募集しています。詳しくは、「住宅金融公庫業務取扱店」と表示の金融機関または金融公庫金沢支店(☎0762-63-3422)へ。

とって、新しいものを売り付けられたという苦情もあります。

事例2 鍋の料理講習販売……7件

料理の無料講習会をするという主婦を集め、普通のアルミ鍋だとアルミが溶けだし、体に害があるとか、ガンになりやす

不審に思ったときは 気軽に消費者相談へ

いとかが言って、20～30万円もする高価なステンレス鍋セットを購入させられたものです。

事例3 名義借り(貸し)商法……6件

知人がセールスを始めたため「名前だけかしてほしい」と言われ、気軽に協力したところ、信販会社から一方的に代金支払い

請求を受けたというものです。

事例4 資格(士)商法……3件

相談者はほとんどが男性です。経営法務管理士や中小企業診断士の資格などが「今なら優先的に取れる」などと電話で勧誘され、あいまいな返事をしたため申し込んだものとされて受講料などを請求されたものです。

その他「絶対もうかる」との誘いに乗って大損させられた先物取引、トイレの換気扇を点検すると言って勝手に取り替えられたなどという苦情も寄せられています。

今年こそ、こうした商法に引っかけられないためにも、不審に思ったときには、消費者相談センター(市生活環境課内 ☎66-1111内線463)へ気軽にご相談ください。

市民カレンダー

2月10日～2月24日

市民のうごき (1月1日現在)

人口	42,633人 (-9)	対前月比	12月中の異動
男	20,484人 (±0)		転入 66人
女	22,149人 (-9)		転出 72人
世帯数	11,271戸 (+2)		出生 26人
			死亡 29人
			結婚 22組

10水	一般健康相談 9.00～11.00 保健所 結婚相談 10.00～15.00 有終会館 行政相談 13.00～16.00 有終会館	健康体操教室 13.00～15.30 保健センター 年賀はがきコンクール 入賞作品展示 市役所
11木 建国記念の日	六呂師高原雪まつり 9.00～14.00	
12金	母子健康相談 13.00～14.30 保健所 高齢者職業相談 13.00～16.00 下庄公民館 前期離乳食指導 13.30～15.30 保健所	年賀はがきコンクール 入賞作品展示 18日まで 図書館
13土	六呂師高原雪まつり 16.00～21.00	<h3>今月の納税</h3> <p>固定資産税 第4期分 29日までに納めてください。</p>
14日 聖バレンタインデー	ガソリンスタンド当番 坪田・大油屋(花山)・カワイ(バイパス) 六呂師高原雪まつり 9.00～14.00	
15月 ねはん会	金融相談 10.00～16.00 商工会議所 献血 10.00～15.00 かじ惣春日店	
16火 狩猟禁止	農業所得納税相談 9.00～16.00 市農協下庄・富田・阪谷支所 社会保険・年金相談 10.00～15.00 織物組合	
17水	農業所得納税相談 9.00～16.00 市農協下庄・富田・阪谷支所 一般健康相談 9.00～11.00 保健所	結婚相談 10.00～15.00 有終会館 行政相談 13.00～16.00 有終会館 3歳児検診 13.00～14.00 保健所
18木	農業所得納税相談 9.00～16.00 市農協小山・乾側・下庄・富田・阪谷支所 心配ごと相談 9.00～12.00 市役所	交通事故相談 10.00～15.00 市役所 婦人悩みごと相談 13.00～16.00 有終会館 食生活養生講座 9.00～13.00 保健センター
19金 雨 水	農業所得納税相談 9.00～16.00 市農協大野・小山・乾側支所、上庄農協 母子健康相談 13.00～14.30 保健所	高齢者職業相談 13.00～16.00 富田公民館 後期離乳食指導 13.30～15.30 保健所 年賀はがきコンクール 入賞作品展示 25日まで 大野公民館
20土	農業後継者結婚相談 13.00～16.00 有終会館	<h3>図書館休館のお知らせ</h3> <p>図書館は館内整理のため、2月16日(火)～18日(木)の3日間、臨時休館します。 なお、2月2日(火)～14日(日)の期間中は、1人6冊まで3週間貸し出します。ご利用ください。</p>
21日	ガソリンスタンド当番 カワイ(春日)・大油屋(新町)・マルカモーターズ	
22月	農業所得納税相談 9.00～16.00 市農協大野支所・上庄農協 人権悩みごと相談 13.30～16.00 上庄農協	
23火	農業所得納税相談 9.00～16.00 上庄農協 事業所得納税相談 9.00～16.00 市役所 一般健康相談 13.00～14.30 保健所	
24水	市県民税申告受付 9.00～16.00 市役所 一般健康相談 9.00～11.00 保健所 結婚相談 10.00～15.00 有終会館	行政相談 13.00～16.00 有終会館 健康体操教室 13.00～15.30 保健センター

発行 福井県大野市 編集 企画広報課(電話 076-1111) 印刷 (株)松浦印刷

真つ先に響き渡った。人里離れた静寂な山村にある禅寺は、あくまで修行道場ではあるが、元旦は多くの参拝者でにぎわったよ。元旦は、初もうでをし、雑煮を食べたあと、年賀状を一枚手にして見る楽しみがある。印刷されたものはやや味気ないが、干支や郷土の風景をあしらったデザインのものや写真類は趣もあり、近況を添え書きしたものは親しみがもてる。今日はおもう二月一日。いつまでもお屠蘇気分であるわけにもいかない。身近にあるいろいろの問題に、がつぶり四つに組んで解決していかねばならない。円高や貿易摩擦などで、日本丸の航海も前途多難だが、大野丸の航海も例外ではない。▼昨今は、この会合でも「活性化」という言葉が、ひんぱんに使われる。口先だけでいくら叫んでみても、活性化にはつながらない。集まった人たちが一つの問題を自分のものとしてとらえ、研究討議を重ね、知恵を出し合い協力し合って初めて実現可能になる。▼行政の仕事には、住民の理解と協力が重要である。いわゆるコンセンサスが必要になってくる。住民の声を反映しながら、市の対応をできるだけ分かりやすく説明するのが広報の役割である。「市政おのれ」もいよいよ責任重大といわざるを得ないが、大野市発展のために、今年もがんばりたい。(T)



昨年の大晦日、NHK紅白歌合戦のあと、宝慶寺の除夜の鐘の澄んだ音が、テレビを通じて全国に